



特別会計

(単位:万円)

会計名	●歳入決算額	●歳出決算額
国民健康保険事業	84億9,760	83億1,913
介護保険事業	53億4,203	52億7,647
後期高齢者医療事業	16億329	15億9,945
モーターボート競走事業	1,158億7,420	1,141億3,345
土地区画整理事業	18億3,440	15億7,427
公共用地対策事業	2億3,584	2,943
下水道事業	21億8,393	20億1,733
三谷町財産区	9,057	7,575
西浦町財産区	1,349	1,022
合計	1,356億7,535	1,330億3,550



企業会計

(単位:万円)

会計名	水道事業		病院事業	
	●収入決算額	●支出決算額	●収入決算額	●支出決算額
収益的	17億5,072	16億1,903	76億2,004	73億9,675
資本的	9,250	6億2,718	10億4,037	12億9,046

モーターボート競走事業特別会計は、病院事業会計に12億4,000万円、下水道事業特別会計に5億5,000万円、土地区画整理事業特別会計に2億1,000万円、合計20億円を繰り出しました。

健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成25年度決算における健全化判断比率と資金不足比率をお知らせします。

平成25年度決算における算定の結果、財政の健全度を表す健全化判断比率の4指標はすべて「早期健全化基準」と「財政再生基準」を下回っており、市の財政は健全性を確保できています。また、公営企業会計でも資金不足は発生していません。

健全化判断比率

(単位:%)

区分	蒲郡市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	12.65	20.00
連結実質赤字比率	-	17.65	30.00
実質公債費比率	△1.6	25.0	35.0
将来負担比率	-	350.0	

※実質赤字比率、連結実績赤字比率の「-」は、実質的な赤字が発生していないことを表します。

※将来負担比率の「-」は、実質的な将来負担が発生していないことを表します。

資金不足比率

(単位:%)

公営企業会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0
病院事業会計	-	20.0
下水道事業特別会計	-	20.0

※資金不足比率の「-」は、各会計で資金不足が発生していないことを表します。

※「早期健全化基準」「財政再生基準」また「経営健全化基準」を超える場合は、市の財政が危機的状況にあり、財政・経営の健全化や再生に向けての計画策定が必要となります。

健全化判断比率

次の4つの指標で財政状況を判断します。

①実質赤字比率

一般会計などにおける赤字の程度を示す指標で、数値が大きいほど赤字の額が多くなり、厳しい財政状況にあると言えます。

②連結実質赤字比率

①と同様の指標で、全会計の赤字や黒字を合算し、市全体としての収支状況を示すものです。

③実質公債費比率

借入金の返済額などの大きさを示す指標で、数値が大きいほど返済以外に使えるお金が少ない状況にあると言えます。

④将来負担比率

一般会計などの借入金や、将来負担すべき実質的な負債の程度を示す指標で、数値が大きいほど将来的に財政が圧迫される可能性が高いと言えます。

資金不足比率

公営企業会計ごとの資金不足額を示す指標で、数値が大きいほど経営状況が厳しいと言えます。

